

証券コード5471

# 第92期第2四半期 (中間)報告書

(平成27年4月 1日から)  
(平成27年9月30日まで)

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第92期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の状況等につきましてご報告申し上げます。

## 事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いてきたものの、夏場以降、中国景気減速リスクの高まりもあり、足踏み状態になってきております。輸出の伸び悩みや個人消費の弱含みなどから在庫調整が長引き、鋳工業生産もやや低調な動きとなりつつあるなど、今後の景気については不透明感が強まっております。当社グループの主要需要先である自動車も在庫調整の動きがあり、特殊鋼にも在庫調整が波及しております。また、当社の主原材料である鉄スクラップやニッケルを含め、資源価格の多くが下落しております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、市場の変化を注視し即応できる体制をとるとともに、中期経営計画の達成に向けて、お客様との共創、成長領域への注力、QCD(品質、コスト、納期対応力)競争力の強化を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、売上数量の減少や原材料価格の下落にともなう売上単価の低下等から、前年同期比50億85百万円減収の2,338億32百万円となりましたが、経常利益につきましては、主原材料である鉄スクラップ価格の下落等により、前年同期比17億61百万円増益の114億31百万円となりました。また、ソフトウェア開発中止にともなう損失を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比20億78百万円減益の20億37百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきます。

なお、通期(平成28年3月期)の連結業績予想につきましては、次のとおり前回(平成27年4月30日)発表の業績予想を修正しております。

## 平成28年3月期の連結業績予想

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
平成27年3月期(実績)		483,633	20,408	21,729	10,886
平成28年 3月期	前回(平成27年4月30日) 発表予想	500,000	27,000	29,000	19,000
	今回(平成27年10月30日) 発表予想	464,000	26,000	26,500	14,000

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりです。

### 特殊鋼鋼材

構造用鋼につきましては、主要需要先である自動車の在庫調整の動きから、構造用鋼も在庫調整局面となったことなどによって売上数量が前年同期比で減少いたしました。工具鋼につきましては、国内・海外ともに堅調な需要が続いており、売上数量は高位横ばいを継続しております。一方、主原材料である鉄スクラップ価格は、中国鉄鋼供給過剰を背景に韓国等の海外需要が減少したことから、前年同期比で大きく下落しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高につきましては、売上数量の減少および鉄屑サーチャージによる売上単価の低下を受け、前年同期比 9.6%減少の 859 億 31 百万円となったものの、営業利益につきましては、原材料価格の下落やコストダウンを進めたことなどが寄与し前年同期比 14 億 64 百万円増益の 20 億 82 百万円となりました。

### 機能材料・磁性材料

ステンレス製品につきましては、パソコン販売低迷を受けて HDD(ハードディスクドライブ) 向け需要がやや弱かったことなどから、売上数量は前年同期比で若干減少いたしました。磁石製品につきましては、自動車用EPS(電動パワーステアリング)モーター向けが増加したことから、また、チタン製品につきましては、国内・海外で医療向けが堅調に推移したことなどから、売上高が前年同期比で増加いたしました。高合金製品につきましては、リードフレーム用素材の需要が低迷したことなどから、また、粉末製品につきましては、海外自動車関連が低迷したことなどから、売上高が前年同期比で減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高につきましては、前年同期比 2.6%増加の 807 億3百万円となりました。また、営業利益につきましては、前年同期比4億 32 百万円減益の 62 億 71 百万円となりました。

## 自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、民間航空機向け需要は堅調に推移しておりますが、プラント関連需要が原油価格下落の影響で低迷しているなど、売上高は前年同期比で微減となりました。型鍛造品につきましては、中国景気減速の影響等により、売上数量が前年同期比で減少いたしました。エンジンバルブにつきましては、北米自動車販売の好調を受け、受注が堅調に推移したことなどから、また、鋳鋼品・精密鋳造品につきましては、ターボ関連需要の増加により、売上高は前年同期比で増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高につきましては、前年同期比0.5%増加の494億3百万円となりました。営業利益につきましては、主原材料である鉄スクラップやニッケル価格の下落等もあり、前年同期比3億56百万円増益の7億54百万円となりました。

## エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、主力製品であるSTC (Short Time Cycle) 焼鈍炉の販売が好調であることなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比22.5%増加の131億80百万円、営業利益につきましては、前年同期比7億22百万円増益の10億23百万円となりました。

## 流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、情報システム関連の売上高が減少したことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同期比11.8%減少の46億13百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期比18百万円減益の6億27百万円となりました。

## 当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第91期上半期 (平成26/4-9)		第91期下半期 (平成26/10-27/3)		第92期上半期 (平成27/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	95,080	39.8	94,044	38.4	85,931	36.8
機能材料・ 磁性材料	78,670	32.9	83,088	34.0	80,703	34.5
自動車部品・ 産業機械部品	49,181	20.6	50,204	20.5	49,403	21.1
エンジニアリング	10,755	4.5	12,148	5.0	13,180	5.6
流通・サービス	5,229	2.2	5,230	2.1	4,613	2.0
合計	238,917	100.0	244,715	100.0	233,832	100.0

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 対処すべき課題

当社グループを取り巻く中長期の事業環境は、主要需要先の自動車については新興国を中心に拡大することが想定されます。その中で、地球温暖化対策として年々強化される二酸化炭素排出規制へ対応するため、内燃機関の燃費向上、軽量化、電動化等のための技術開発が一層進められると想定しています。また、資源・エネルギー関連需要については、新興国の経済発展にともない中長期に拡大することが想定されます。この分野でも燃焼効率のより一層の向上が重要になると考えられます。こうした変化の中で、当社グループには今まで以上に高い耐熱性、耐食性、信頼性を持ちつつ、高い加工性も備えた特殊鋼が求められていると考えています。

また、企業活動のグローバル化が進展を続ける中で、当社グループには、今まで以上に海外市場での供給体制が求められています。

当社グループでは、これらの経営環境の見通し・変化に対応するため、本年5月に、平成29年度までを実行期間とする中期経営計画を策定いたしました。当社は平成28年に創業100周年を迎えますが、次の100年も世界の発展に貢献できる特殊鋼メーカーを目指し、『世界に貢献する特殊鋼メーカー DAIDO STEEL お客様との共創を通じて、世界の成長を支える新しい特殊鋼を産み続ける』を経営基本方針として、次の重点施策を実行してまいります。

### ①お客様との共創

世の中が必要とするイノベーションを、お客様と一体となって産み出しています。お客様とより密接なコミュニケーションをとれる営業体制へ組織改編を行い、情報収集能力を高め、グループ内の商品群・技術力を余すところなく提供できる体制へ変革し、当社グループの商品・技術とお客様の加工技術を高度に融合させてまいります。

例えば、型鍛造品事業では新型熱間高速横型鍛造機を活用しお客様のモノづくりと融合した商品開発を進めています。自動車エンジンバルブ事業におきましては、材料と加工技術の組み合わせにより、さまざまなニーズに対応してまいります。こうしたお客様との共創を通じて、トータルソリューションを提供してまいります。

### ②成長領域への注力

今後大きく成長が見込まれる分野におきましては、市場の発展を支えるため、これまでに培ってきた幅広い特殊鋼先端技術力をさらに磨き上げ、新しい特殊鋼を産み続けることで世界に貢献してまいります。

例えば、拡大が期待される自動車用ターボ需要向けには、薄肉・複雑形状を得意とする精密鑄造製品をはじめとして、耐熱、耐食などのニーズに対応すべくさまざまな部材の拡大を進めています。磁石事業におきましては、大きく成長すると見込まれる車載分野を中心に、市場の拡大を支えてまいります。高合金事業におきましては、渋川工場に世界最大級の大型真空誘導溶解炉（VIM）を設置し、重電、石油・ガス掘削、航空機など成長する市場に最先端の特殊鋼を提供してまいります。

### ③QCD競争力の強化

特殊鋼で世界に貢献するための土台として、世界で戦えるQCD（品質、コスト、納期対応力）競争力をさらに強化してまいります。溶解プロセスの最適化など、製造プロセスを更に洗練させ、QCDすべての点で価値を提供してまいります。また、海外市場へのサプライチェーンを強化し、グローバルに必要な時に商品を提供できる体制を整えてまいります。

#### ④企業基盤の強化

①から③の施策を着実に実行していくために、企業活動の基盤強化をさらに推し進めてまいります。そのための一つとして、本年6月から独立社外取締役増員による取締役会監督機能の強化と迅速な意思決定を可能にするための執行役員制を導入しました。これにより経営の透明性を担保してまいります。また、刻々と変化するビジネス環境に効果的に対応するためには、企業活動の根源である人材の多様化が必要と考えており、女性・外国人など多様な人材が活躍できる職場環境づくりを進めてまいります。

当社グループに与えられた使命は、より進化した製品や技術を通して世界をより良くすることに貢献することと考えております。この使命を果たし続けるため、グループ一丸となって持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長 嶋尾 正

## 四半期連結貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資 産 の 部)</b>		<b>(負 債 の 部)</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>249,440</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>150,830</b>
現金及び預金	34,927	支払手形及び買掛金	61,922
受取手形及び売掛金	95,817	電子記録債務	7,684
電子記録債権	5,174	短期借入金	32,320
たな卸資産	104,298	1年内償還予定の社債	20,000
そ の 他	9,392	未払法人税等	2,885
貸倒引当金	△169	賞与引当金	6,361
		その他の引当金	504
		そ の 他	19,151
<b>固 定 資 産</b>	<b>317,999</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>128,574</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>188,130</b>	社 債	20,000
建物及び構築物 (純額)	64,248	長期借入金	73,114
機械装置及び運搬具 (純額)	76,534	その他の引当金	2,395
そ の 他 (純額)	47,347	退職給付に係る負債	8,166
		そ の 他	24,898
<b>無形固定資産</b>	<b>2,755</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>279,405</b>
の れ ん	88	<b>(純資産の部)</b>	
そ の 他	2,667	<b>株 主 資 本</b>	<b>218,023</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>127,113</b>	資 本 金	37,172
投資有価証券	80,392	資本剰余金	28,437
退職給付に係る資産	39,488	利益剰余金	152,802
そ の 他	7,368	自 己 株 式	△388
貸倒引当金	△135	その他の包括利益累計額	32,231
		その他有価証券評価差額金	19,515
		繰延ヘッジ損益	△3
		土地再評価差額金	1,758
		為替換算調整勘定	3,122
		退職給付に係る調整累計額	7,839
		<b>非支配株主持分</b>	<b>37,779</b>
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>288,034</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>567,439</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>567,439</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 四半期連結損益計算書 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		233,832
売 上 原 価		197,833
売上総利益		35,998
販売費及び一般管理費		25,241
営業利益		10,757
営業外収益		
受 取 利 息	77	
受 取 配 当 金	1,147	
持分法による投資利益	330	
為 替 差 益	82	
そ の 他	1,126	2,764
営業外費用		
支 払 利 息	683	
環境対策引当金繰入額	632	
固 定 資 産 除 却 損	342	
そ の 他	431	2,089
経常利益		11,431
特別利益		
投資有価証券売却益	1,224	1,224
特別損失		
ソフトウェア開発中止に伴う損失	5,579	
投資有価証券評価損	567	6,147
税金等調整前四半期純利益		6,509
法人税、住民税及び事業税	3,284	
法人税等調整額	△445	2,839
四半期純利益		3,669
非支配株主に帰属する四半期純利益		1,632
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,037

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料</li> <li>●特殊鋼鋼材加工、流通</li> <li>●原材料販売</li> <li>●運輸、物流</li> </ul>
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料</li> <li>●磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等）</li> <li>●粉末製品（HEV用磁性粉末等）</li> <li>●チタン材料製品（医療用チタン合金、形状記憶合金等）</li> <li>●溶接用材料</li> </ul>
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等）</li> <li>●自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品）</li> <li>●鋳鋼品（鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等）</li> <li>●精密鋳造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等）</li> <li>●製材用帯鋸</li> <li>●エンジンバルブ</li> <li>●圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品</li> </ul>
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等</li> <li>●機械設備の保守管理</li> </ul>
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業</li> <li>●ゴルフ場経営</li> <li>●分析事業、ソフトウェア外販事業</li> </ul>

## 主要な営業所および工場等

本 社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪府中央区 福岡市中央区
工 場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 渋川 粉末 王子 君津	愛知県東海市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 東京都北区 千葉県君津市
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	技術開発研究所	名古屋市南区

## 重要な子会社および関連会社の状況

### ①重要な子会社の状況

#### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	※ % 69.4	商事
DAIDO PDM(THAILAND)CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万BAHT 157	※ 90.0	金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園県)	百万NT\$ 145	※ 73.4	金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	百万円 435	※ 96.2	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製 造および販売 鋼材および非鉄金属の熱 処理および表面処理
DAIDO AMISTAR(M)SDN.BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	※ 89.6	金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売
DAIDO AMISTAR(S)PTE.LTD. (シンガポール国)	千S\$ 3,545	※ 69.1	金型用鋼および工具鋼 プレートの加工および販売
大同資材サービス株式会社 (名古屋市南区)	百万円 60	100.0	当社および子会社等への 諸資材の販売
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発 生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造 および販売
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	100.0	鋼材の精整作業

#### 機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪府中央区)	百万円 5,000	※ % 40.5	ステンレス鋼線および金属 繊維等の製造および販売
THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムトプラカーン県)	百万BAHT 320	※ 100.0	ステンレス鋼線およびダイア モンドダイスの製造および販売
株式会社ダイドー電子 (岐阜県中津川市)	百万円 1,490	100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	※ 100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県)	百万BAHT 140	※ 100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売
インターメタリックス ジャパン株式会社 (岐阜県中津川市)	百万円 100	100.0	ネオジム焼結磁石の製造お よび販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	297	※ 83.8	特殊鋼およびその他金属の 加工製品の製造および販売
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	80	100.0	ネジおよびボルトの製造 および販売

## 自動車部品・産業機械部品

会 社 名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同キャスティングス (名古屋市港区)	百万円 2,215	% 100.0	鋳造品および特殊鋼管 材の製造および販売
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	3,018	* 51.7	エンジンバルブ等の製造 および販売
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整 および熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	* 79.7	圧縮機部品、ターボ部品 およびカップリング等の 製造および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

## エンジニアリング

会 社 名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市南区)	百万円 310	* % 96.0	工作諸機械および各種機械の製 造および販売 機械設備の保守、点検および修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市南区)	50	100.0	灰溶融炉設備および下 水汚泥処理設備の運転・ 保守業務請負
大同プラント工業株式会社 (名古屋市南区)	36	64.3	工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理

## 流通・サービス

会 社 名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福 利厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・ 印刷事業等
木曽駒高原観光開発株式会社 (長野県木曽郡木曽町)	237	100.0	ゴルフ場の経営、別荘 地管理
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物およびセ ラミックス等の分析・試験・ 調査業務の請負
株式会社スターインフォテック (名古屋市東区)	45	100.0	情報通信機器によるシス テムの企画、設計、開発お よび保守運用受託
株式会社ライフサポート (名古屋市南区)	10	* 100.0	清掃業、警備業、給食 事業等
Daido Steel(America)Inc. (米国イリノイ州)	US\$ 9	* 100.0	輸出・輸入商事

- (注) 1. \*印は、間接所有の株式を含みます。  
2. 機能材料・磁性材料部門の日本精線株式会社は、出資比率が100分の50以下であります。実質的に支配しているため子会社としたものであります。  
3. 機能材料・磁性材料部門の大同スペシャルメタル株式会社は、平成27年9月30日に解散しております。

## ②重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
理研製鋼株式会社 (東京都中央区)	百万円 485	% 38.7	特殊鋼二次製品、切削工具および工作・産業機械等の製造および販売
東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町)	827	10.0	高級特殊鋼および加工製品の製造および販売
丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区)	100	41.3	運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等
桜井興産株式会社 (名古屋市南区)	75	* 43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社 (東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工、自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社 (川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

- (注) 1. \*印は、間接所有の株式を含みます。  
 2. 東北特殊鋼株式会社は、出資比率が100分の20未満であります。が、実質的な影響力を持っているため関連会社としたものであります。なお、緊密な者または同意している者の出資比率は23.8%であります。

## 従業員の状況 (平成27年9月30日現在)

### ①当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特殊鋼鋼材	4,467
機能材料・磁性材料	2,043
自動車部品・産業機械部品	2,671
エンジニアリング	652
流通・サービス	857
全社(共通)	436
合計	11,126

### ②当社の従業員数等

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,234	39.0	17.7

## 株式に関する事項 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,160,000,000株  
 発行済株式の総数 434,487,693株  
 株 主 数 30,456名

### ①大株主の状況(上位10名)

株 主 名	株式数(千株)	株式数比率(%)
新日鐵住金株式会社	31,009	7.13
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	20,927	4.81
明治安田生命保険相互会社	20,759	4.77
株式会社みずほ銀行	15,543	3.57
日本発條株式会社	14,497	3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	14,058	3.23
本田技研工業株式会社	13,053	3.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	10,719	2.46
トヨタ自動車株式会社	8,690	2.00
株式会社デンソー	8,000	1.84

### ②所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金融機関	174,210	40.10
国内法人	137,012	31.53
外国人	60,750	13.98
個人・その他	58,287	13.42
証券会社	3,513	0.81
自己株式	716	0.16

## 取締役および監査役 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	嶋尾	正
代表取締役副社長	岡部	道生
代表取締役副社長	新貝	元
代表取締役副社長	石黒	武
取締役	宮嶋	晃
取締役	板摺	康宏
取締役	西村	司
取締役	藤野	伸司
取締役	種村	均
常勤監査役	古池	俊典
常勤監査役	徳岡	重信
監査役	小澤	祐吉

- (注) 1. 藤野伸司氏および種村均氏は、社外取締役です。  
2. 徳岡重信氏および小澤祐吉氏は、社外監査役です。  
3. 藤野伸司氏、種村均氏、徳岡重信氏および小澤祐吉氏は、東京証券取引所および名古屋証券取引所の定めによる独立役員です。

## 執行役員 (平成27年9月30日現在)

社長執行役員	嶋尾	正*	常務執行役員	成瀬	真司
副社長執行役員	岡部	道生*	執行役員	松淵	周司
副社長執行役員	新貝	元*	執行役員	武藤	大
副社長執行役員	石黒	武*	執行役員	平林	一彦
常務執行役員	宮嶋	晃*	執行役員	天野	肇
常務執行役員	板摺	康宏*	執行役員	森	義昭
常務執行役員	高橋	元	執行役員	吉永	祐孝
常務執行役員	立花	一人	執行役員	秦野	敦臣
常務執行役員	西村	司*	執行役員	神谷	祐司
常務執行役員	辻本	敏	執行役員	羽生田	智紀
常務執行役員	志村	進	執行役員	関	公彦

- (注) 1. 当社は、平成27年6月26日より執行役員制を導入しております。  
2. \*印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(http://www.daido.co.jp/)

## 株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
中間配当金 9月30日  
期末配当金 3月31日  
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00 土日・休日を除く  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)  
【アドレス】<http://www.daido.co.jp/koukoku/>  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金のお支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・配当金受取方法のお取扱いについて  
従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

